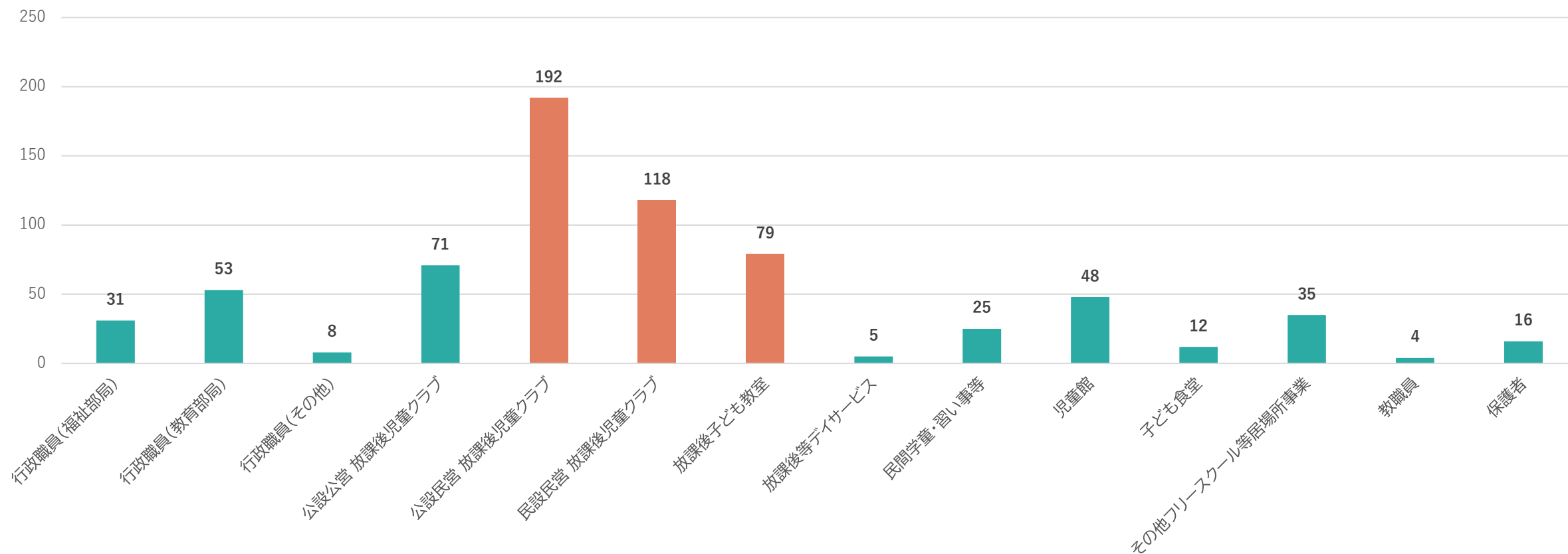


# 第8回放課後勉強会 「一人ひとりの居心地の良い環境づくり」 事前アンケート結果

2025年2月13日(木)

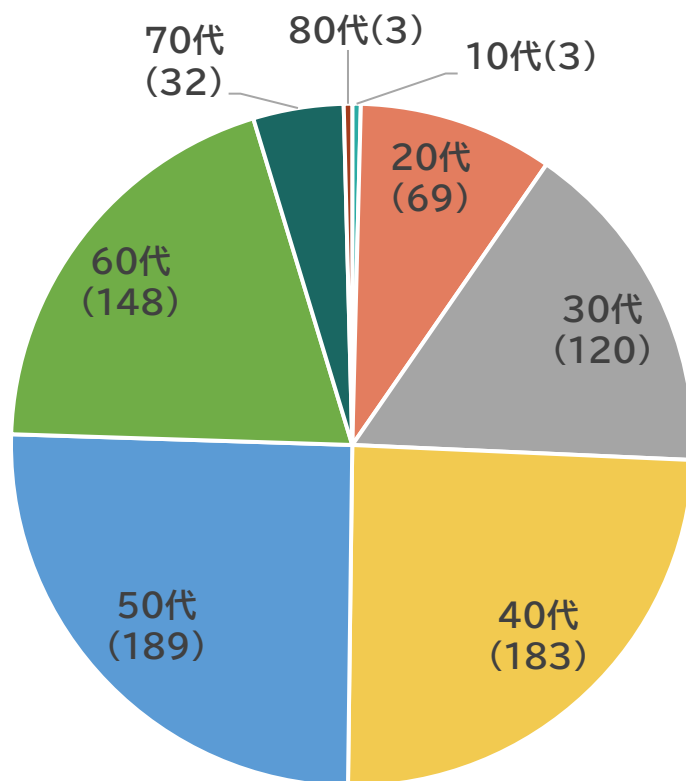
対象者	放課後児童クラブや放課後子ども教室等子どもの居場所に関わる方、行政職員等
調査期間	2025年1月6日～2月5日
調査方法	第8回放課後勉強会申込者へのWEB調査
回答数	747件
調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・所属属性、年代、従事年数</li><li>・流入経路、参加実績、申込理由</li><li>・物理的環境の課題(広さ、ひとりや少人数になれる空間、スタッフの作業・休憩場所の有無)</li><li>・せまい・うるさい・落ち着かないの感じ方</li><li>・施設の狭さや音等の環境による課題</li><li>・理想的な環境</li><li>・環境改善へのハードル</li><li>・環境づくりに使える年間予算</li></ul>

## 回答者属性：所属属性（N=747）

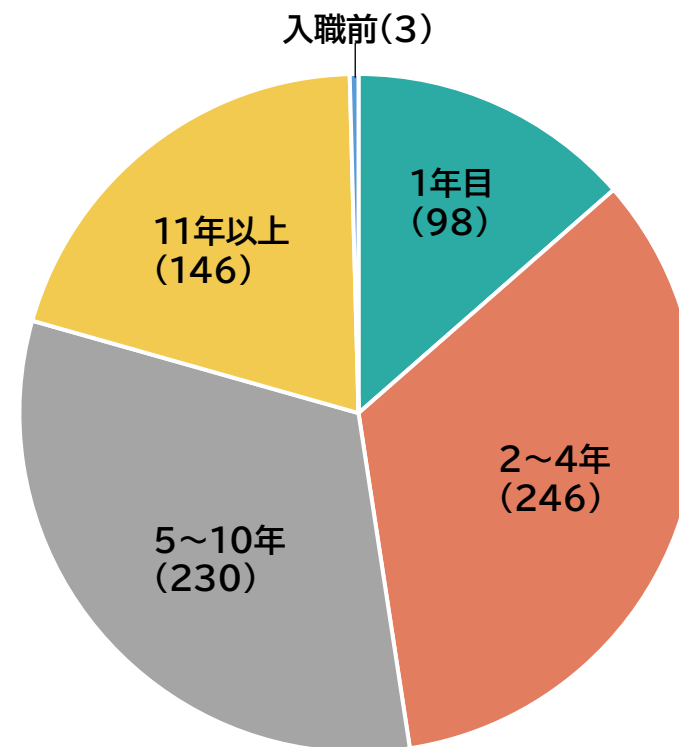


放課後児童クラブや放課後子ども教室等子どもの居場所に関わる方から  
行政職員、保護者の方のご参加も

Q.年代(N=747)

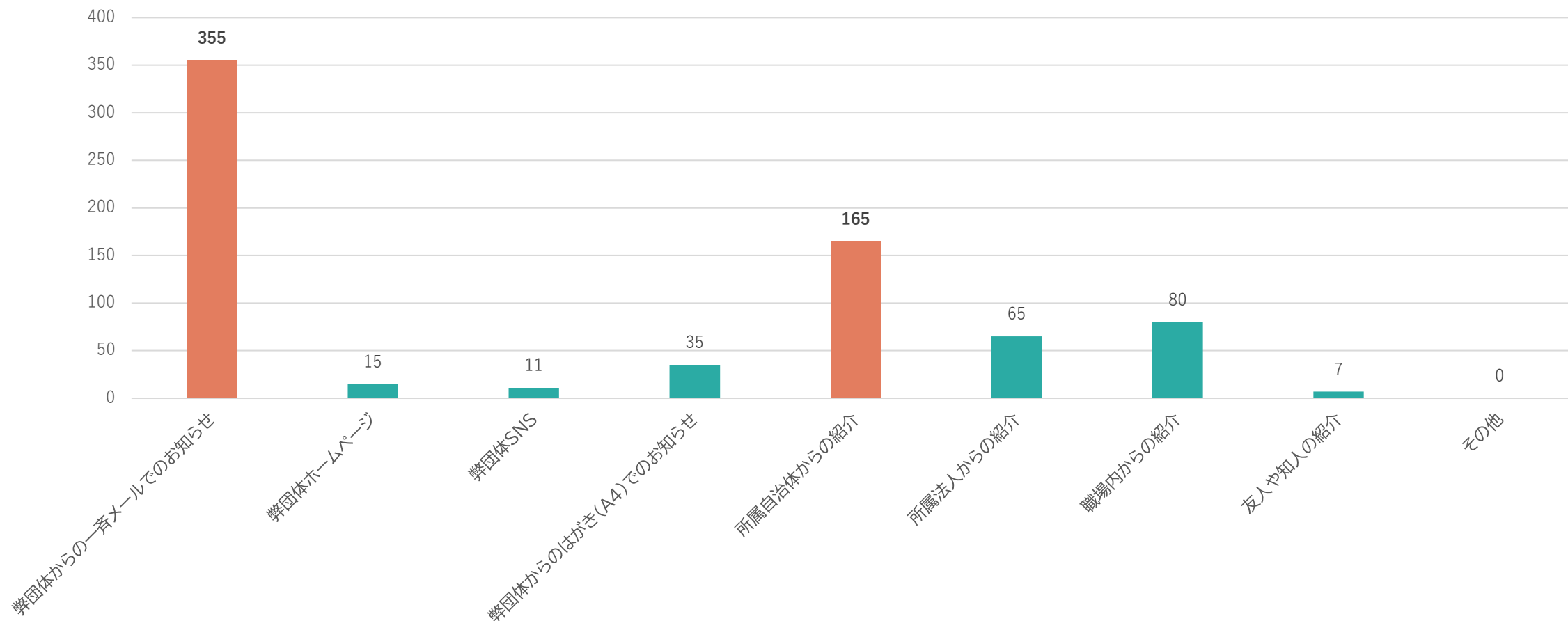


Q.現在の事業・活動への従事年数(N=747)



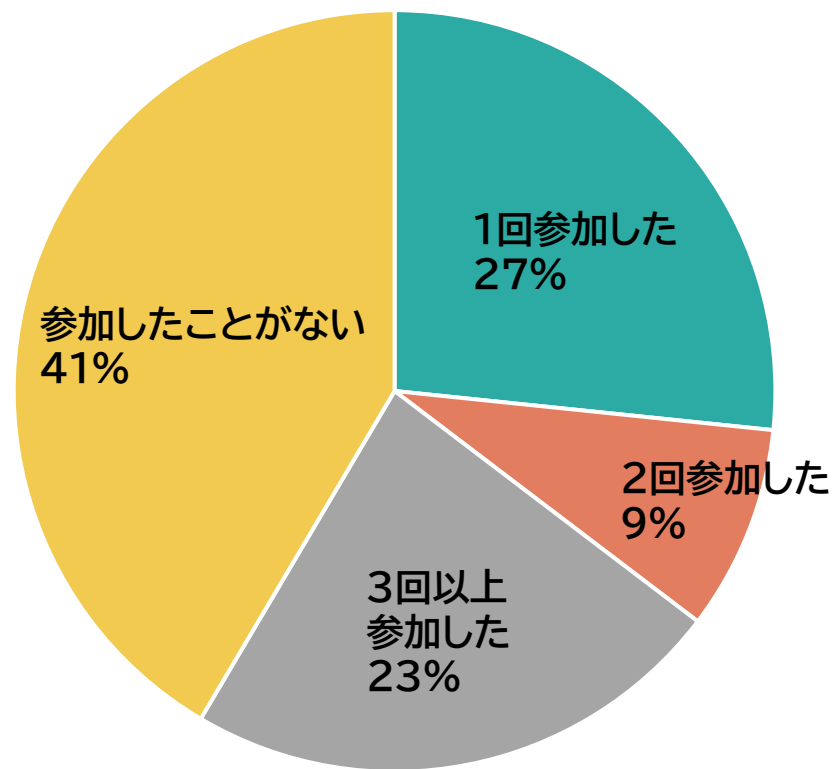
40～60代を中心に幅広い年齢層  
様々な従事年数の方のご参加

Q.どのように勉強会の情報を知りましたか。(N=747)



これまでに参加実績がある層が最も多く、次いで自治体からの紹介

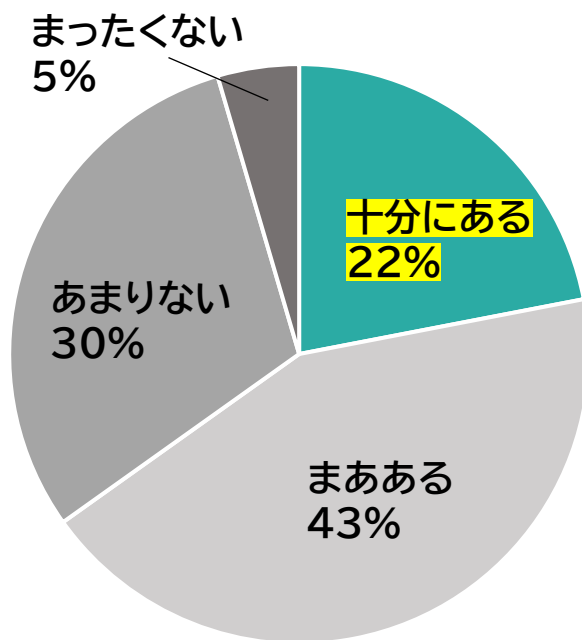
## Q.これまでの参加実績(N=747)



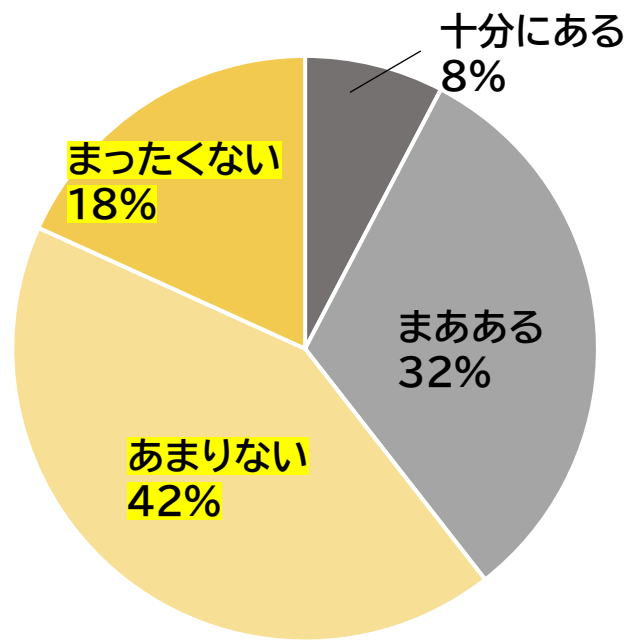
初めての参加の方が4割  
3回以上参加の方も23%

Q.運営している施設について最も近いものをお答えください。(N=747)

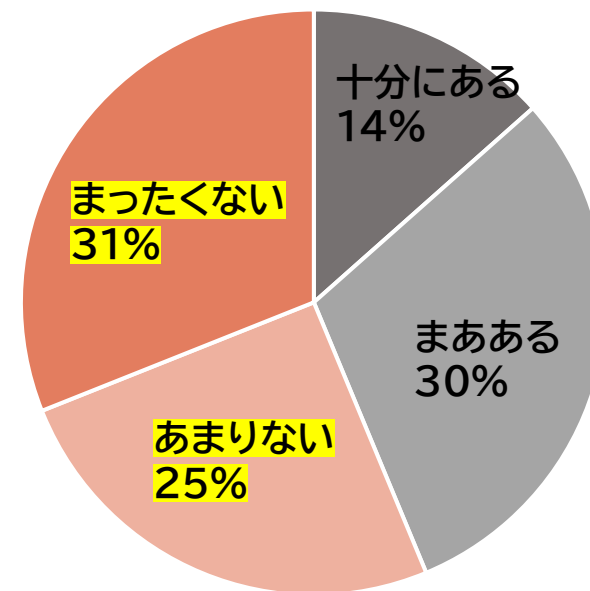
必要な広さは十分にあるか



ひとりや少人数になれる空間はあるか



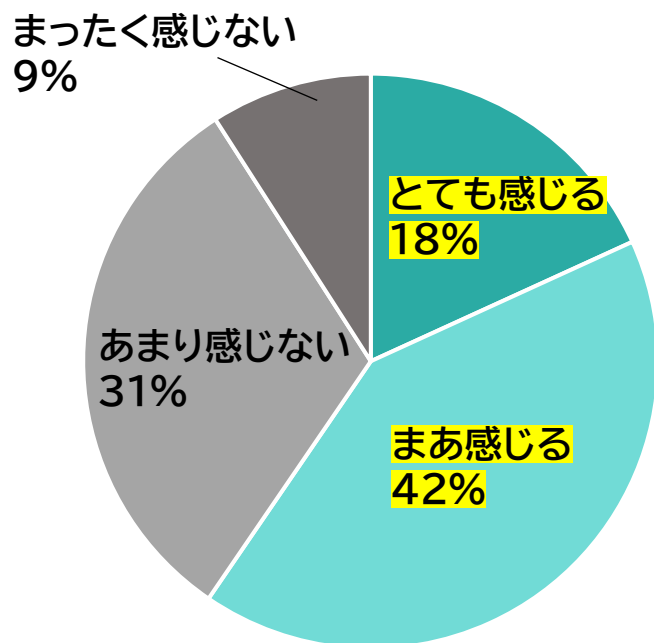
スタッフの作業・休憩場所はあるか



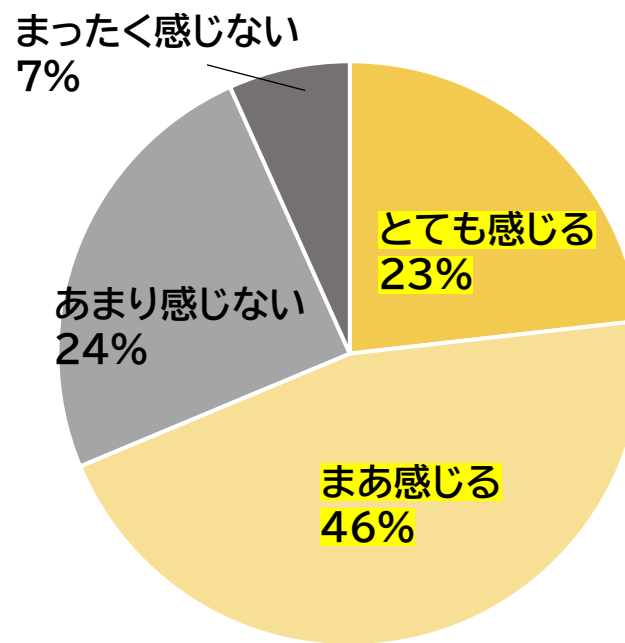
必要な広さが「十分にある」という回答が2割にとどまる  
ひとりや少人数になれる空間は6割、スタッフの場所は5割以上が「ない」と回答

Q.運営している施設について感じているものに最も近いものをお答えください。N=747

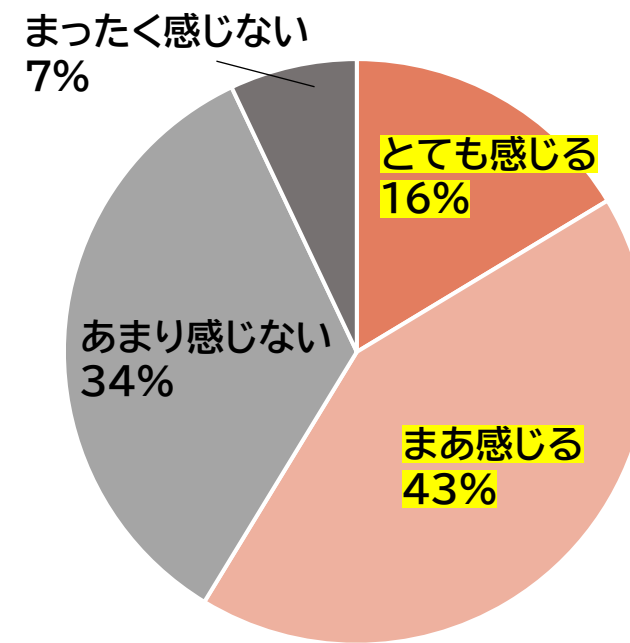
せまい



うるさい



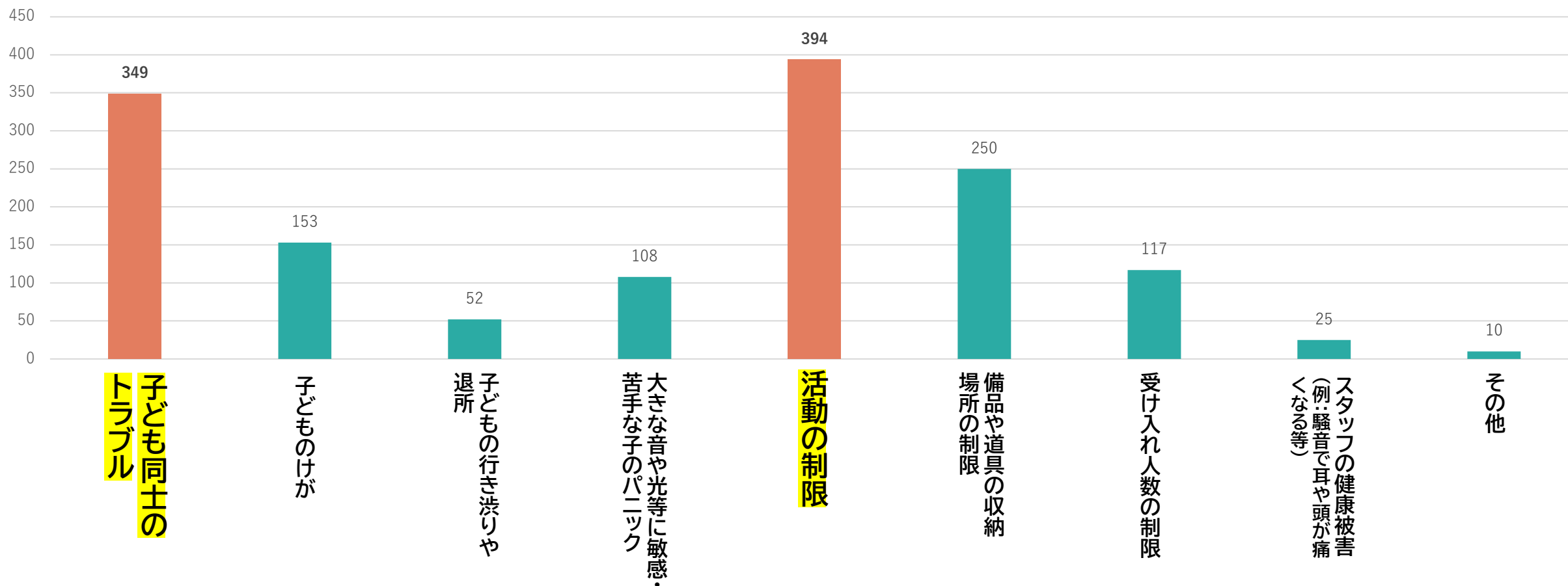
落ち着かない



すべての項目で5割以上が「感じる」と回答  
特に「うるさい」は7割近くの方が「感じる」と回答



Q.施設の狭さや音等の環境により、具体的にどのような問題が発生していますか。(※3つまで複数回答可) N=747



「活動の制限」が最も多く、次いで「子ども同士のトラブル」と回答

Q.環境の課題感やそれをきっかけに起きていること・起きたことを差し支えない範囲で具体的にお聞かせください。  
(※任意) N=158

## 「せまい」関連の声

室内を歩くだけでもスペースが十分では無く、しょっちゅう誰かの体に触れたり、ぶつかりながら歩く

一部の児童が床で勉強をしているのは通常だ。来年度はさらなる児童数の増加が予想されるため、どのようになってしまうのか非常に不安

加配児童が(パニックやトラブルで)クラブに入ることができなくなってしまう、真夏や真冬でも屋外で一日過ごさざるを得ない状況が発生

遊ぶスペースが、十分取れないためにお互いに邪魔になったりして、ケンカをしてしまうこともある。

ところ狭しと座卓が並んでいるので、大勢の子どもが動くと狭さからぶつかったり、怪我に繋がることもある。

施設が古くて狭い中に1年生～6年生までが生活している。朝から開所している時は児童もスタッフも息苦しさを  
感じている。特に夏休みは一か月以上もその状態が続き、夏休み2週目以降は子ども同士のトラブルが多発して  
スタッフの疲弊度も限界を超えていた。こんな状態なので、児童を安全にお預かりする(託児)ことだけで精いっ  
ぱい

## 「うるさい」関連の声

子どもの声が大きく、隣家より苦情があり、子どもへの行動制限をしている

遊んでいる子がうるさいので、宿題に集中できないから参加しないという児童がいる。

壁や天井に防音材などが入ってないため反響が酷く、聴覚過敏の傾向がある人にとって落ち着かない空間になっている。

## 「落ち着かない」関連の声

子どもが一人で静かになれる場所、空間がない為、逃げ場がない

支援の必要な児童が最近になって、大人数や騒がしい所にいることが辛く学童に来れなくなっている

4・5・6年生の女子など高学年が落ち着いたり、自分たちだけになれる場所がなく、どんどんいなくなってしまうということがありました。

## その他の声

スタッフルームは物が多く、雑然と重ねられていたり、重要書類と思われる物が児童のすぐそばに置かれていた事も。

スタッフは重要な話をしたくても、児童に筒抜けになりうる場所で小声で手早く話すしか無く、**スタッフ同士のコミュニケーションもゆっくりできない。**

**学校の払い下げの机・椅子を使用しており高さもバラバラ**、放課後教室で使う工作に不向き等課題多数

エアコンが4代10年以上前のあるが夏は冷えず首に手拭いを付け汗が流れる状況。  
冬休みの7時にエアコン付けても温まるのに11時くらいまでかかり部屋の中でずっと上着が手放せない

暑い時期に体育館や校庭で遊べないので室内の人数が多くなり、**身体を使えないのでストレスで問題行動が多くなってトラブルになりかねない。**

Q.ご自身にとって理想的な環境とはどのような環境か、お聞かせください。（※任意） N=166

### 様々な過ごし方を担保する環境

静かに過ごすことのできる場所とにぎやかな場所どちらもあり、自由に行き来できる空間。

いろんな用途の部屋があり、子どもたちが自ら過ごしたいと思う場所で過ごせる環境

一人で過ごしたり本を読んだりして静かに過ごす場所、大勢で身体を動かせる場所、少人数の友達と遊べる場所、具合が悪いときに横になって休める場所があるといい

### ひとりや少人数になれる空間

適度に目隠しされた個人スペースがいくつかあると良い。

ゆったり過ごせたり、クールダウンができるスペースが欲しい。

一人になれる空間がある、自分のペースで活動することを認めてくれる保育者や環境があること

## 体を動かせる環境

外で思い切り遊べる広さがある事。

暑い時期や暑い時の雨の日でも身体を使って遊べる場所がある環境が必要。特に公園で使えないボールを使った遊びが出来る所があると良い。

## スタッフの働く環境

スタッフ専用のスペースがあり、子どもたちの受け入れ等、準備ができるとよい。スタッフの配置人数も足りない。

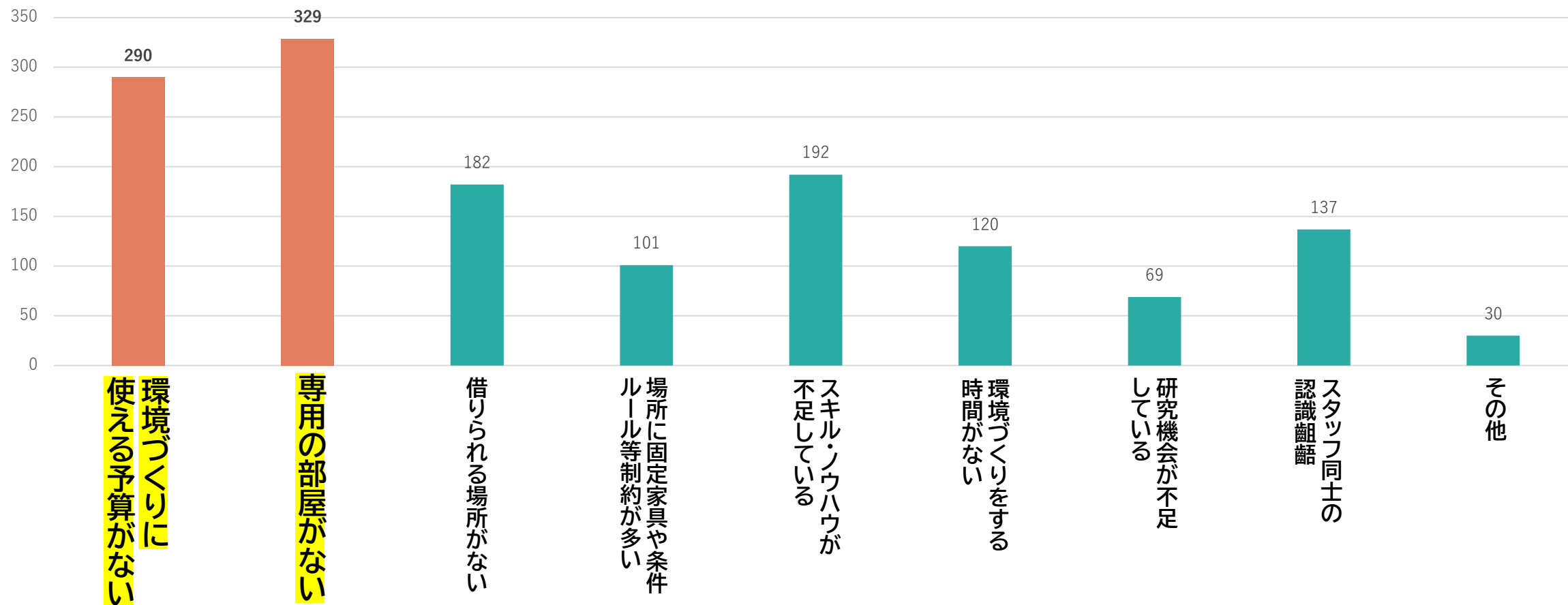
職員には、別室でほっと一息、お茶を飲んだり、少し仮眠も取れるような静かなスペースを。最低限、貴重品をしまえるロッカーを全員分。

## その他

広すぎ、狭すぎのない人数に応じた適度な空間が必要。人数の変動はあるので、仕切りなどで可動式の設備があると良いと思う。

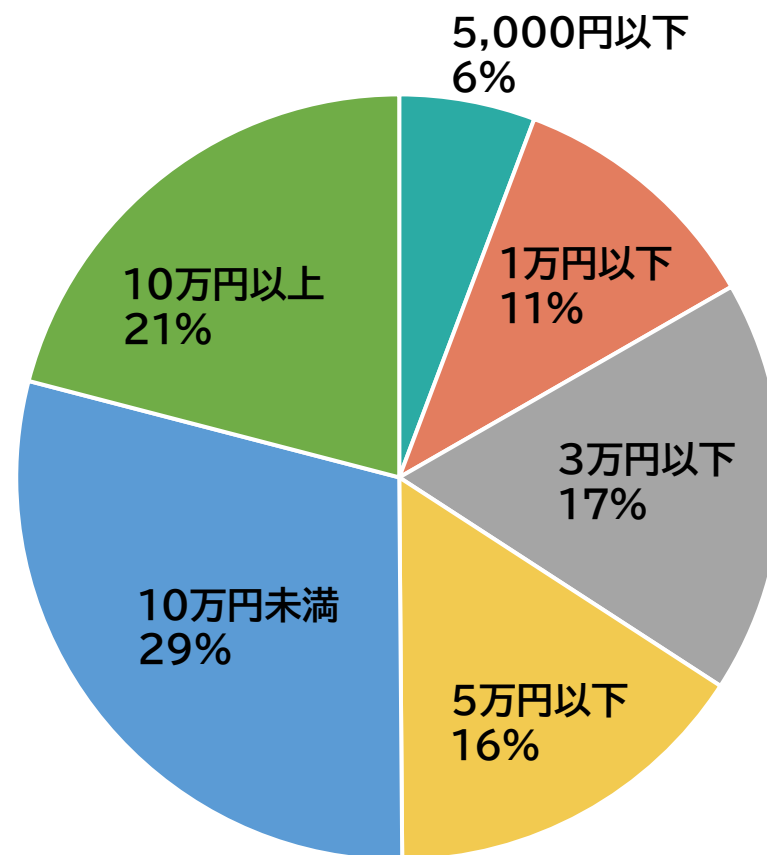
広々とした空間で、子どもたちがのびのびと遊べる環境。遊びの選択肢が多彩な環境。

Q.より良い環境をつくるにあたり、ハードルとなるものをお答えください。(※3つまで複数回答可) N=747



「専用の部屋がない」が最も多く、次いで「使える予算がない」と回答

Q.環境づくりに使える予算は年間どれくらいありますか。(N=747)



5割が5万円以下と回答